



国立公園満喫プロジェクトの 取組状況と成果

1. 利用の行動計画等の策定

施策の取組と成果

- 改正公園法を踏まえ、**公園計画へのストーリー・ビジョン・管理運営方針等の追加**を促進。
- 3 国立公園・1 国定公園において、公園計画において、質の高い自然体験活動の促進に関する基本的な事項として、**自然体験活動計画**が定められた。
- 三陸復興国立公園において、新たにステップアッププログラムを策定。**
- エコツーリズム推進全体構想**を新たに3 地域で認定。
- インタープリテーション(IP)全体計画**の策定を各公園に促し、新たに2 箇所で作成に着手。
- 地域住民がファンになり、誇りに思うよう、地域関係者と公園の魅力を共有するため、**インナーブランディング**の取組を実施。

活動指標	実績値 (2024.2)	昨年度 (2023.3)
ビジョン及び管理運営方針（保護と利用の方針）が記載された公園計画書数 ※ストーリーの記載のみの2公園を含む	3※	0
自然体験活動計画が記載された公園計画書数	7	4
インタープリテーション全体計画の策定数	4	4
ステップアッププログラムが策定された公園数	13	12
管理運営行動計画が記載された管理運営計画数	0	0

最近の取組成果

● 公園計画へのビジョン等の追加

- 公園の特徴に応じた、ビジョン及び管理運営方針（保護と利用の方針）を山陰海岸国立公園の公園計画に新たに追加した。
- ビジョンのもととなるストーリーを雲仙天草国立公園と西表石垣国立公園の公園計画で新たに明確化した。
- 質の高い自然体験活動に係る基本的な事項（自然体験活動計画）について、令和5年度中に新たに4 地域の公園計画に定めた。（伊勢志摩、山陰海岸、雲仙天草（雲仙地域）、西表石垣（西表地域））

自然体験活動計画の追加

雲仙地域が有する自然資源の特性等を踏まえた質の高い自然体験活動の機会を確保するため、自然体験活動計画（質の高い自然体験活動の促進に関する基本的な事項）を定める。

1. 計画の対象地域： 雲仙国立公園雲仙地域

2. 自然体験活動で対象とする雲仙地域の自然、人文文化の特徴

雲仙地域は、雲仙岳が作り出す火山噴生や地獄現象等の特徴的な火山景観を中心に、高原半島を囲む海洋風気が織りなす、雄大な多様な自然景観を有している。また、摩訶庵やキリスト教に由来する歴史遺産、外国人避暑地として歴史的に愛された海外文化等の人文文化の特質にも思まれている。

3. 質の高い自然体験活動の促進に係る方針

ア) 当該地域の価値や特徴を踏まえた望ましい利用の提供

・当該地域の優れた自然景観や人文景観を活用し、ルールやガイド等を整理しつつ、活動を通じて、当該地域のストーリー（物語）の理解が促進される自然体験活動を開発・提供する。

イ) 利用環境の向上

・当該地域の特質であり、価値を伝える風致景観（雲仙地帯を取り込んだ街道並景観、ミヤマキリシマ群落等の放牧原景観）の保全等に資する自然体験活動を定める。多言語化、通信環境の向上等の利用者の利便性を図る。

ウ) 利用に関するルールやマナー

エ) 人材の確保及び育成

・共通のストーリー（物語）を伝え、地域が一体となって利用者に感動と学びを提供しているよう、地域の人材の育成を図る。

オ) 利用分岐の促進、利用者の費用負担の仕組みの導入

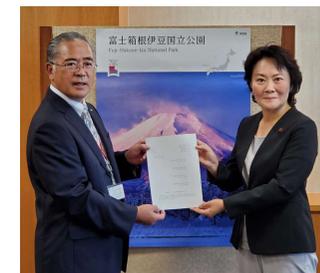


● インタープリテーション 全体計画の策定

- 利用者に提供する価値やストーリーを明らかにし、その提供方法等を定めたインタープリテーション全体計画について、令和5年度中に**新たに2 箇所**で策定に着手
（中部山岳国立公園・上高地エリア、奄美群島国立公園・徳之島世界遺産センター）

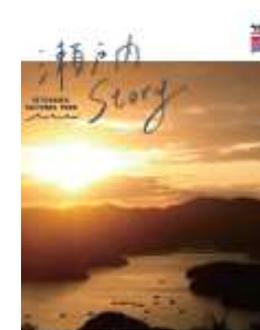
● エコツーリズム推進全体構想の策定・認定

- エコツーリズム推進法に基づき、**新たに3 地域**でエコツーリズム推進全体構想が策定・認定された。
- 屋久島町（屋久島国立公園）
- 薩摩川内市（甕島国定公園）
- 神津島村（富士箱根伊豆国立公園）



● インナーブランディングの取組

- 瀬戸内海国立公園（備前市・瀬戸内市）において、地域の方から、国立公園や地域への想いを聞き書きし、冊子「瀬戸内story」を作成



2. 地域協議会の取組

施策の取組と成果

- ・ 滞在体験の魅力向上先端モデル事業の対象公園において、地域協議会等の場を活用した議論を実施。
- ・ 民間事業者と連携して公園管理や魅力の発信を行うため、**オフィシャルパートナーシップを137社と締結**し、連携した取組を実施。
- ・ 国立公園等の現地管理体制について、207名の体制を確保。

活動指標	実績値 (2024.2)	昨年度 (2023.3)
国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置公園数	13	13
環境省現地職員数	207	202
公園管理団体数	7	7
国立公園オフィシャルパートナー数	137	130

最近の取組成果

● 国立公園における滞在体験の魅力向上先端モデル事業

- ・ 対象4公園において、基本構想の検討を進める場として地域協議会の場の設置・活用。
- ・ 十和田八幡平国立公園十和田湖地域では、関係自治体・団体等が参画する十和田湖1000年会議を令和5年10月に発足。地域ワーキンググループを開催。
- ・ 中部山岳国立公園南部地域では、松本高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会と連携し、滞在・周遊環境検討会（ヤド・アシ分科会）を設置・開催して議論を実施。・開催。
- ・ やんばる国立公園では、国の機関地方自治体・観光関係団体等が参画したやんばる国立公園連絡協議会を令和6年2月に設置



● オフィシャルパートナー企業による取組の気運醸成・連携推進

- ・ オフィシャルパートナー企業と国立公園の現地職員との意見交換会を実施（全3回）
- ・ うち1回は富士箱根伊豆国立公園（箱根地域）で現場の取組・課題等の視察と意見交換を実施



● 国立公園オフィシャルパートナーシップの締結

- ・ 令和5年12月に新たに8社と締結。合計**137社**に。



3.利用者負担の仕組みづくり (利用のルール、限定体験含む)

施策の取組と成果

- **地方公共団体、地元事業者、保護団体等と連携し、国立公園における利用者負担の仕組みづくりを積極的に拡大。**
- **入域料の収受だけでなく、ツアー料金への上乗せ、施設利用料の収受、飲食物等の売上げの一部還元等、多様な手法による取り組みを実施。ICTの活用を推進。**
- **取組普及のため、利用者負担事例リストを配布**

活動指標	実績値 (2024.2)	昨年度 (2023.3)
入域料の仕組みの実施数 <small>※任意の協力金（目安の額が示されているもの）又は条例に基づく義務の税で、一定エリアへの入域を契機に支払うもの</small>	16 ^[※1]	8
利用者負担の仕組みの件数 <small>※入域料以外で、事業収入等の一部を保全のために活用する事例</small>	34 ^[※2]	26
コンテンツガイドラインの「環境への貢献・持続可能性」を満たすコンテンツ数	390	296

※1・・・2023年度の新規は1件。各地方環境事務所に再精査を依頼したところ、案件が増加
 ※2・・・2023年度の新規は4件。同上

最近の取組成果

【知床】

・R5年度からカムイワッカ湯ノ滝のぼりを予約制として協力金を収受。運営残金を知床国立公園の自然環境保全に充当する取組開始



【中部山岳】

(※検討中のため実績値に含まず)

・北アルプストレイルプログラム（長野県側で実施している登山道維持管理に係る協力金収受の取組）を、飛騨側に拡大するため、R5年度に実証実験を実施



●コンテンツガイドラインの「環境への貢献・持続可能性」を満たすコンテンツ

国立公園における自然体験コンテンツガイドラインの基礎的項目（フェーズ1）をセルフチェックにより9割以上達成したコンテンツのうち、環境への公園・持続可能性に関わる7項目を全て達成したコンテンツを集計。



沖縄県、やんばる国立公園
奇跡の森ネイチャーガイドツアー
 やんばるの最大の魅力はここにしかない固有の生き物たちの暮らしを支える豊かな自然。やんばる森ガイドと歩けばたくさんの出会いと発見が待っています！



神奈川県、富士箱根伊豆国立公園
箱根外輪山と名峰・金時山の縦走トレッキング
 雲峰・富士山を眺めながら40万年前に生まれた箱根外輪山を爽快トレッキング。関東でも有名な金時山に繋がる縦走コースを1日で走破。



北海道、大雪山国立公園
温泉街から歩いて探検！紅葉谷森林ハイク
 大雪山お鉢平から流れ出し赤石川に沿って作られた紅葉谷のトレイルを、大自然を間近に感じながら歩きます。

4. 脱炭素化等の持続可能な地域づくり

施策の取組と成果

・ハード（利用拠点）及びソフト（自然体験）の両面で需要側における脱炭素化を推進
 ・2021年3月より、先行してカーボンニュートラルに取り組むエリアを「ゼロカーボンパーク」として位置づけ。国立公園における電気自動車等の活用、利用施設における再生可能エネルギーの活用、地産地消等の取組を進めることで、国立公園の脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めてサステナブルな観光地づくりを実現

活動指標	実績値 (2024.2)	昨年度 (2023.3)
ゼロカーボンパークの登録数	14市町村	11市町村
ZEB国立公園事業による補助事業数	67	61 (H30～R4)
公共有料駐車場のEV/FCV利用台数（自然公園財団管理駐車場）	531	1,057台 (R3～R4)

最近の取組成果

ゼロカーボンパークの登録状況
 令和3年3月の開始以降、全国で15件、16市町村（令和5年3月25日時点）

登録番号	登録年月日	地方自治体	国立公園	備考（登録エリア等）
第1号	2021.3.23	松本市	中部山岳	乗鞍高原
第2号	2021.6.25	志摩市	伊勢志摩	志摩市全域
第3号	2021.9.24	那須塩原市	日光	塩原温泉・板室温泉地区
第4号	2022.3.18	妙高市	妙高戸隠連山	妙高市
第4号	2022.3.18	釧路市	阿寒摩周	阿寒湖温泉
第6号	2022.3.29	千歳市	支笏洞爺	支笏湖
第7号	2022.4.21	片品村	尾瀬	尾瀬かたしなエリア
第8号	2022.6.27	釧路市、弟子屈町、美幌町、足寄町	阿寒摩周	全国初の連名登録
第9号	2022.7.14	釧路市	釧路湿原	全国初の2国立公園登録
第10号	2022.7.22	日光市	日光	奥日光地域
第11号	2023.4.18	廿日市市	瀬戸内海	宮島
第12号	2023.8.23	福島市	磐梯朝日	土湯温泉・高湯温泉
第13号	2024.2.27	鳥羽市	伊勢志摩	鳥羽市
第14号	2024.3.1	立山町	中部山岳	立山町
第15号	2024.3.16	雲仙市	雲仙天草	雲仙市

爛付け



【雲仙天草】

・雲仙市ゼロカーボンパークにおける脱炭素の取組として、「爛付け」（地熱を利用した給湯施設）の自然エネルギーの活用



【磐梯朝日】

・温泉熱を利用したバイナリー発電施設（土湯温泉）



5. 自然体験コンテンツの造成

施策の取組と成果

- 阿蘇市が、改正公園法に基づく、**自然体験活動促進計画**を策定（第1号）。
- 国立公園における自然体験コンテンツのガイドラインに基づき、**3地域において高付加価値化のコンテンツ造成のために伴走支援を実施。**
- ビジターセンター等の拠点施設のスタッフやツアーガイド、地域のコーディネーター等を対象に、研修やアドバイザー派遣等による**人材育成支援**を継続して実施。

活動指標	実績値 (2024.3)	昨年度 (2023.3)
自然体験活動促進計画の認定数（協議会数）	1 (2)	0 (1)
人材育成事業研修参加地域数	108	97
コンテンツガイドラインを満たす自然体験コンテンツ数	580	588
ウェブサイト掲載コンテンツ数	556	531
ウェブサイト掲載モデルコース数	39	30

最近の取組成果

● 阿蘇 自然体験活動促進計画の策定

阿蘇くじゅう国立公園における自然体験活動促進計画を、改正自然公園法に基づき全国で初めて認定。



● 自然体験コンテンツガイドラインに基づく高付加価値化伴走支援事業の実施（3地域）



【磐梯朝日】

火山、水（温泉）、盆栽（ゴヨウマツ）をキーコンテンツとした、高付加価値なツアーコンテンツの造成と実施・販売体制の確立を支援。



【霧島錦江湾】

高千穂峰にまつわる天孫降臨伝説をモチーフに地域に育まれた、暮らしや信仰、伝統芸能を一つのストーリーとして体験できるツアーコンテンツを開発支援を実施。



【奄美群島】

環境文化をテーマに、インバウンドをターゲットにした高付加価値なアドベンチャーツアーコンテンツの開発と、コンテンツの実施体制の確立を支援。

観光庁との連携事業 (サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業等)

施策の取組と成果

- 観光庁における令和4年度補正予算「サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業」等と連携して、地域の自然・文化・歴史・産業等の保全につながる好循環の仕組みづくりを支援。
- 国立・国定公園においてもソフト事業で11件（上限2,000万円）、ハード事業で5件の案件が採択され、環境省も協力する形で事業を実施。

最近の取組事例

- 阿蘇くじゅう国立公園における事業実施例
 - 観光コンテンツ造成：阿蘇の「千年の草原」を活用した、旅行者も草原の守り人となる観光コンテンツ3本を造成
 - ①Regenerativeコンテンツ：地域事業者と茅狩り・防火帯作り等へ参加し、あか牛BBQを通じて地域農家と交流
 - ②Off the beaten trackコンテンツ：早朝の日の出/雲海を見ながらの朝食や夜間の星空を鑑賞。地域の食材や飲み物を楽しめる
 - ③Universal tourismコンテンツ：草原におけるE-Bikeに加え、自動車でも歴史・文化等を紹介するユニバーサルなコンテンツを展開
 - SNS～予約・訪問までの導線づくり
 - SNSでコンテンツの販売・来訪に繋がる仕組みづくりを実施
 - ホームページの改修
 - ホームページの流入状況や動線等のアクセス解析を行い、途中離脱や在庫管理における課題を明確化・改修



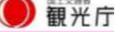
阿蘇五岳を望む草原で「草原の守り人」の技を体験



雲海を眺める草原での朝食



体力に自信が無い方も安心して参加できる自動車ガイド

持続可能性を核とした日本ならではの世界的価値の創出 R4補正予算インバウンドの本格的な回復に向けた集中的な取組等(約257億円)の内訳 

- 世界的に「持続可能な観光」への関心が高まる中、**知的好奇心・サステナビリティへの関心の高い旅行者層**を惹きつける、**日本ならではの持続可能性の仕組みや価値への貢献**を体験できる取組が必要。
- 観光利用と地域資源の保全を両立するため、コンテンツ料金に地域還元や資源保全費用を組み込む等により、**地域の自然・文化・歴史・産業等の保全につながる好循環の仕組みづくり**を支援。
- 経済・社会・環境の好循環を加速化**させる日本ならではの持続可能性の仕組みや価値を確立し、**国際的に発信**。

事業概要

対象者 持続可能な観光の取組を実施する
地方公共団体・DMO・民間事業者等

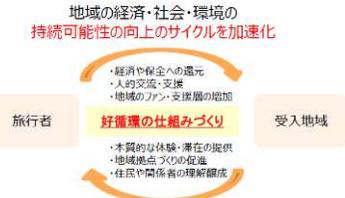
支援メニュー

○サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりモデル事業 (調査事業)

- 観光コンテンツ造成と運動し地域の社会・経済に寄与する仕組み、旅行者と地域の関係構築を強化するモデル実証 (上限：2,000万円/件)
- ・旅行者の知的好奇心を踏まえ、自然・文化・歴史・産業等の本質を味わいながら、地域への貢献を実感でき、観光利用と地域資源の保全を両立する体験等のコンテンツ造成
 - ・コンテンツ料金に地域還元や資源保全費用を組み込む等の好循環の仕組みづくりが必須 (例：体験料金の1%を地域の伝統文化の保全活動へ還元する仕組み等)
 - ・地域の価値継承に寄与するような、旅行者と地域の関係構築・販路形成・受入体制強化

○サステナブルな観光に資する好循環の仕組みづくりと運動した受入環境整備 (補助事業:補助率1/2)

- 下記の施設改修・整備 (上限：5,000万円/件)
設備導入・物品購入 (上限：500万円/件) を支援
- ・観光利用と地域資源の保全の両立、本質的な体験・滞在の提供に資する施設や空間整備、ツアー実施のための施設改修・整備、設備、物品購入等



取組事例：「散居村」を後世に残す観光の取組
伝統的家屋を活用し、散居村、地域の精神文化やコミュニティの保全と未来継承につながるコンテンツや仕組みづくり。



- ・風土を生かした伝統的家屋をリノベーション活用
- ・高付加価値旅行者層のインバウンドターゲットとホプディング
- ・散居村を構成する屋敷林や水田を現代に合わせて活用しながら保全する体験コンテンツ、将来への新たなトラスト活動に展開

○やんばる国立公園における事業実施例

- コンテンツの造成・販売：環境モニタリングを行う保全体験型ナイトツアー「AKISAMIYO」を磨き上げるとともに、新たな販路を開拓
- 地域資源の利用と保全：参加費に含まれる協力金により、又はアクティビティとして環境保全活動を実施している。また、ツアー催行者、参加者の双方が守るべきルールをガイドラインとして策定している。



ナイト環境モニタリング調査ツアー「AKISAMIYO」の様子



ツアー参加者からの環境保全金を活用した外来植物防除活動の実施



地域の保全と利用の意識を高めるとともにガイド人材の確保・育成を目的とした講演会を実施

6. 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上

施策の取組と成果

- **国立公園における滞在体験の魅力向上に向けた先端モデル事業**に4つの公園で取組む。
- **阿蘇くじゅう国立公園における利用拠点整備改善計画**を、改正自然公園法に基づき全国で初めて認定。
- 地域で利用拠点計画を作成して将来像やビジョンを共有し、廃屋撤去や電線地中化、まちなみ改善等の景観整備事業を進める地区は、30地区に増加。

活動指標

活動指標	実績値 (2024.3)	昨年度 (2023.3)
利用拠点計画の策定数	30	28
利用拠点整備改善計画の認定数（協議会数）	1 (4)	0 (1)
廃屋撤去した拠点数	19	19
電線地中化など景観を阻害する施設の改善を行った地区数	29	25
眺望確保・景観向上を目的に樹木の伐採等を行った地区数	73	50
上質なホテル・旅館の数※1	172	145
利用環境の改善※2を行った山小屋数（補助事業者数）	13	6

※1 著名な格付け機関に高評価を受けている施設数 ※2 トイレの洋式化等

最近の取組成果

● 利用拠点の上質化に向けた廃屋撤去

【十和田八幡平】

● 地域関係者とのワーキングにより議論を重ね構想検討



- 直轄の上質化事業による廃屋撤去第1号がR3.11に完了し、周辺の廃屋も順次撤去に着手。湖畔周辺に跡地空間が形成され始めた。
- 滞在体験の魅力向上に向けて、官民による拠点再生に取り組む。

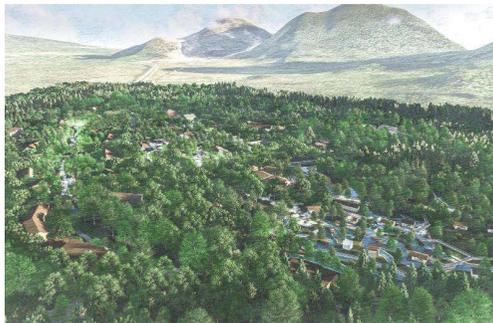
- 広範な関係者を含む「十和田湖1000年会議」を設置するとともに、地域の事業者・住民が参画する地域ワーキングを設置。地域の課題意識や将来像等テーマ毎に話し合いを重ねた。

6. 集団施設地区・温泉街等の利用拠点の魅力向上

最近の取組成果

- 地域の特徴を活かし魅力を発信していくため、まちづくりマスタープランを策定。事業の推進に向けて地域で議論。

【阿寒摩周】



- ・弟子屈町が川湯温泉街の再整備に関する基本的な方針としてマスタープランを策定。
- ・上質化事業による廃屋撤去（2物件）

- 観光拠点となる施設をリニューアル。ゆっくりと滞在し、時間とともに移り変わる景観を楽しむ

【阿寒摩周】



- ・REVIC連携協定の成果として、上質化事業を活用し、硫黄山エリアの利用拠点施設である硫黄山レストハウスを改修し、新たな愛称「硫黄山MOKMOKベース」としてR5.9 オープン。休憩スペースから硫黄山のダイナミックな噴気を眺めることができる大判ガラス窓やリラックスしながら鑑賞できるようにリクライニングソファ等を導入。

- 地区の景観を阻害する廃屋を撤去。新たにカフェが開業するなど、地区の魅力が向上。

【霧島錦江湾】



- ・御池皇子港にカフェ・お食事処がR5.4 開業。上質化事業を活用し、御池の景観を著しく阻害している3棟の廃屋を撤去。また、休憩テラスを整備するなど、地区全体で魅力向上が進んでいる。

- 地域での景観改善の検討を踏まえ支障木を伐採

【磐梯朝日】



- ・眺望の妨げとなっていた支障木を伐採し、三湖パラダイスからの檜原湖や小野川湖の眺望を大幅に改善した。磐梯吾妻・猪苗代地域における景観改善に関する考え方やガイドラインを策定。また、ビュースポットにおける景観改善モデル事業の検討をR4から実施している。

7. 魅力的な利用施設の整備・管理

施策の取組と成果

- ・ ビジターセンター等利用拠点の再整備を実施。
- ・ デジタル展示の導入や案内標識等の多言語化や等が進み、利用環境が向上した。
- ・ ビジターセンターへのカフェ設置や民間事業者との体験コンテンツの連携が進み、民間開放による公園サービスの質的向上が図られた。

活動指標	実績値 (2024.3)	昨年値 (2023.3)
新たにカフェ、ツアーデスク、ショップ等の民間事業者を導入した直轄施設数	14	13
デジタル展示を導入した直轄整備事業数	1	2 (R4)
多言語整備に取り組んだ整備事業数	24	11 (R4)

最近の取組成果

【富士箱根伊豆】

・ 富士山須走口インフォメーションセンターを開設。安全登山を促す案内所等があり、ルート上の気象情報、落石情報、混雑具合などがわかる展示、多様なニーズに対応した情報を展示等により提供している。



【西表石垣】

・ 令和3年7月世界自然遺産に登録された西表島に設置している案内標識。標識の更新に併せて、世界自然遺産や西表島の自然についての多言語解説を充実させた。



【日光】

・ 那須高原ビジターセンターでは、R5.11に実施したイベント「那須ビジ秋まつり2023」（2日間）において、キッチンカーを含む延べ5店舗の飲食ブースが試験出店し、民間事業者との連携を図った。



8. 情報発信・認知拡大

施策の取組と成果

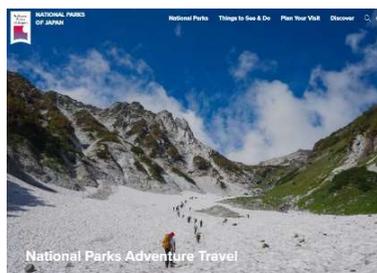
- **JNTOサイト内国立公園一括情報サイト、国内向け国立公園情報サイト**において、**掲載コンテンツの拡充**。
- 継続的なSNSによる発信とランディングページへの誘引。
- **G7関連会合やATWS2023**においてプロモーション実施。
- ツーリズムEXPO2023や新宿御苑GTFなどに出展。
- **JNTOと国立公園の情報発信等に関する勉強会**を共同で開催。
- **新宿御苑**にある「National Park Discovery Center」において、計5回の情報発信展示を実施。
- 財務省・造幣局が国立公園制度100周年記念貨幣を発行。その他、国立公園フォトコンテストの開催、国立公園カレンダーの発行。

活動指標	実績値 (2024.2末)	実績値 (2023.2末)
公式Instagramのフォロワー数・エンゲージメント率（英・率は年間平均）	11.9万人 2.6%	11.8万人 10.7%
公式Facebookのフォロワー数・エンゲージメント率（英・率は年間平均）	22.9万人 1.8%	22.7万人 6.6%
公式Youtubeチャンネル登録者数	6,100人	5,610人
JNTO国立公園ウェブサイトPV数	32.8万	11.9万
環境省ウェブサイト（国立公園に行ってみよう！）PV数	79.0万人	97.5万
スタンプラリーダウンロード数	19,262	11,318
OTA経由のコンテンツ予約数	3,963人	1,496人

最近の取組成果

● JNTOサイト内国立公園一括情報サイト

- 以下の**コンテンツを拡充・新設**
- 高付加価値な自然体験コンテンツ
 - 各公園のストーリーを軸にしたモデルコース
 - ATWS2023用にアドベンチャートラベルページの更新



● 国内向け「国立公園に、行ってみよう！」サイト

- アクティビティ等の**コンテンツを拡充**
- 新宿御苑National Parks Discovery Centerを紹介するページを作成
- モデルコースを一覧で見られるページを作成。



● ATWS2023 (Adventure Travel World Summit) (札幌)、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合(札幌)、G7広島サミット(広島)に出展



● 財務省・造幣局が国立公園制度100周年記念貨幣を発行



● 新宿御苑での情報発信

- 新宿御苑にある「National Park Discovery Center」において、国立公園フォトコンテストの受賞作品や、GOLDWINとコラボしたパネル、その他国立公園の周年PRなど、計5回の情報発信展示を実施。

